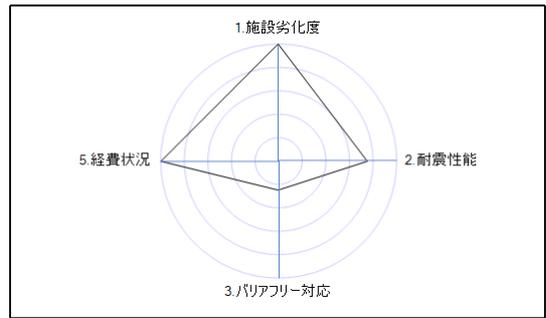




施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
3. バリアフリー対応	D	
5. 経費状況	D	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下している
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即していない
		③利用実態が設置目的に即しているか	即していない
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営である必要性は低い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	低い
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	減少が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	地域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	可能
評価者	家庭支援課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	現在は使用しておらず、大井川南小学校からも不要と聞いている。小学校敷地内で他業務での転用も難しい。改修・解体等の作業も学校生活に支障が出るため、当面は現状維持とする。
今後の方向性	解体について検討を進める。
機能の評価	
評価	現状維持
理由	現在は使用しておらず、大井川南小学校からも不要と聞いている。小学校敷地内で他業務での転用も難しい。改修・解体等の作業も学校生活に支障が出るため、当面は現状維持とする。
今後の方向性	解体について検討を進める
評価者	家庭支援課

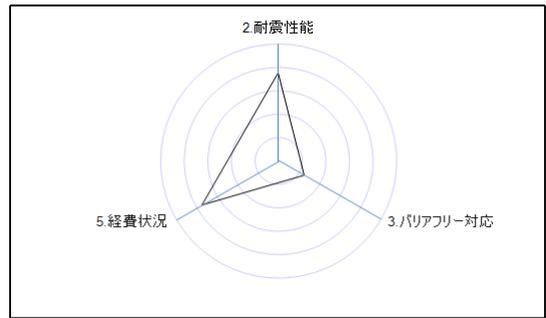
※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
2. 耐震性能	B	
3. バリアフリー対応	D	
5. 経費状況	C	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	地域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	スマイルライフ推進課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	廃止
理由	焼津体育館の建て替え予定地であり、建設工事準備に向けて令和6年8月15日から使用停止しているため。
今後の方向性	焼津体育館が建て替えられることで多くの住民の利用が見込まれる。
機能の評価	
評価	廃止
理由	焼津体育館の建て替え予定地であり、建設工事準備に向けて令和6年8月15日から使用停止しているため。
今後の方向性	焼津体育館が建て替えられることで多くの住民の利用が見込まれる。
評価者	スマイルライフ推進課

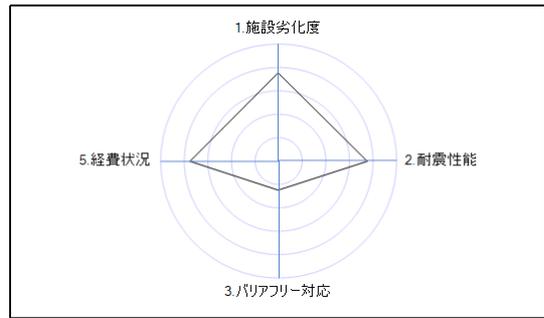
※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
3. バリアフリー対応	D	
5. 経費状況	C	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増加が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	検討の余地あり
評価者	環境課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模な改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	生活スタイルの多様化により、自治会の資源ごみ回収場以外の資源ごみ回収場所設置が望まれているため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	環境課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	旧大井川南幼稚園
------	----------

開設年	2010年	対象年度	令和05(2023)年度
代表建築年	1978年	施設番号	1703260001 中学校区 大井川中学校

施設概要	昭和54年度建設。 平成22年度より大井川南幼稚園が旧大井川南保育園に移転したことに伴い、教育委員会の倉庫として利用。グラウンドはグラウンドゴルフ場として自治会が利用。 平成26年度からは、大井川庁舎別棟倉庫(書庫)として利用。令和5年度からはグラウンドの利用なし。
------	---

基本情報					
所在地	焼津市利右衛門376	大分類	その他施設	敷地面積(m <sup>2</sup> )	5,123
所管部署	教育総務課	小分類	その他施設	延床面積(m <sup>2</sup> )	888
用途地域	その他	財産種別	行政財産	施設棟数	4棟
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有
利用者	教育委員会職員(グラウンドのみ地元自治会で利用)	緯度	34.867		
標高		経度	138.323		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送		
幼稚園舎	1979	44	851	S	1	不足	未実施	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	-	-	-	B	3
物置	1980	43	15	S	1	未実施	未実施	Ⅱ	Ⅰ	-	-	-	-	-	A	4
便所機械室	1980	43	12	S	1	未実施	未実施	Ⅱ	Ⅰ	-	-	-	-	-	A	4
物置	1983	40	10	W	1	対象外	対象外	Ⅱ	Ⅰ	-	-	-	-	-	A	4

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

#### 管理運営情報

##### ■経費情報

区分	市の収支(千円)				指定管理者の収支(千円)			
	R03年度(2021)	R04年度(2022)	R05年度(2023)	平均	R03年度(2021)	R04年度(2022)	R05年度(2023)	平均
収入								
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0

支出								
光熱水費	30	30	31	30	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	94	44	14	51	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	55	55	55	55	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	179	129	100	136	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	81	89	473	214	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	81	89	473	214	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	142	92	179	138	0	0	0	0
人に係るコストの合計	142	92	179	138	0	0	0	0
②合計	402	310	752	488	0	0	0	0

純収支 ①-②	-402	-310	-752	-488	0	0	0	0
---------	------	------	------	------	---	---	---	---

##### ■利用状況

データ項目	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)

##### ■管理・運営情報

運営管理者			
運営形態	直営	指定期間	-
開館時間		休館日	なし

##### ■単位あたり経費等

データ項目	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)	平均	類似平均
床面積あたり支出(円/m <sup>2</sup> )	447.7	349.1	846.8	547.9	10,685.8
利用者あたり支出(円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出(円/人)	2.9	2.3	5.5	3.6	23.7

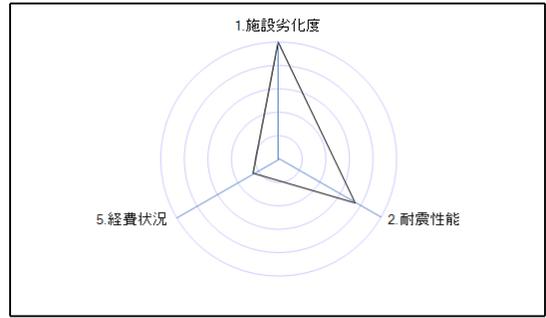
##### ■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	A	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営である必要性は低い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増加が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	検討の余地あり
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	検討の余地あり
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	検討の余地あり
評価者	教育総務課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模な改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	教育総務課等の行政書庫として利用しており、新庁舎完成後も文書管理の方向性が従前と変わらないことから、今後5年間は現状維持とするが、以後の利用については他部局と検討する必要がある。
今後の方向性	施設の使用に支障がない限り、引き続き使用していくが、今後の利用については他部局と検討を行う。なお、内部的な調整のため個別施設計画アクションプランには位置づけをしない。
評価者	教育総務課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	大覚寺清掃所
------	--------

開設年	1975年	対象年度	令和05(2023)年度
代表建築年	1986年	施設番号	1703270001 中学校区 豊田中学校

施設概要	市内から発生する一般廃棄物の収集及び運搬を市がしなければならない。不燃資源ごみを収集する職員及びパッカー車等の詰所、厚生棟及び車庫。
------	--

基本情報					
所在地	焼津市大覚寺187	大分類	その他施設	敷地面積 (㎡)	2,239.34
所管部署	環境課	小分類	その他施設	延床面積 (㎡)	592.94
用途地域	その他	財産種別	行政財産	施設棟数	4棟
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有
利用者	環境管理センター大覚寺職員	緯度	34.867		
標高	8.9	経度	138.323		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送		
車庫	1987	36	211.64	S	1	対象外	対象外	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	-	-	-	-	B	3
自動車車庫	1996	27	195	S	1	対象外	対象外	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	-	-	A	4
詰所	2012	11	105.3	S	1	対象外	対象外	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	-	-	A	4
清掃詰所	1987	36	81	S	1	対象外	対象外	Ⅳ	Ⅱ	Ⅲ	-	-	-	-	B	2.5

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

#### 管理運営情報

##### ■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	R05年度 (2023)	平均	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	R05年度 (2023)	平均
収入								
使用料(減免後)	13	13	1	9	0	0	0	0
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	100	47	175	107	0	0	0	0
①合計	113	60	176	116	0	0	0	0
支出								
光熱水費	450	623	577	550	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	0	0	149	50	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	1,660	0	3	554	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	64	66	66	65	0	0	0	0
その他	16	12	566	198	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	2,190	701	1,361	1,417	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	782	634	0	472	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	782	634	0	472	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	4,147	4,147	1,686	3,327	0	0	0	0
人に係るコストの合計	4,147	4,147	1,686	3,327	0	0	0	0
②合計	7,119	5,482	3,047	5,216	0	0	0	0
純収支 ①-②	-7,006	-5,422	-2,871	-5,100	0	0	0	0

##### ■利用状況

データ項目	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)

##### ■管理・運営情報

運営管理者			
運営形態	直営	指定期間	-
開館時間	8:00~16:45	休館日	土曜日、日曜日、祝日

##### ■単位あたり経費等

データ項目	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	10,081.3	9,245.5	5,138.8	8,155.2	10,685.8
利用者あたり支出 (円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出 (円/人)	51.8	40.1	22.4	38.1	23.7

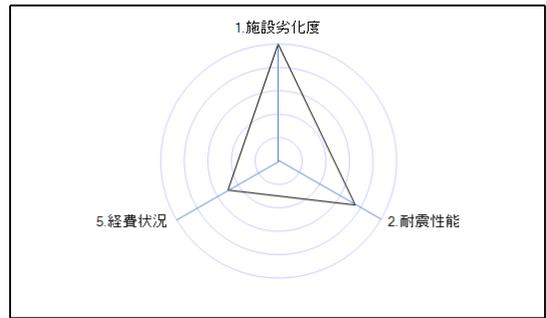
##### ■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	減少が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	検討の余地あり
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	検討の余地あり
評価者	環境課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	老朽化が著しく進行していた倉庫（旧事務所）は、平成30年度に解体・建替えを実施し、今後5年間に大規模な改修の必要はないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年程度以内に大幅なゴミ排出の減少は見込まれないため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	環境課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	小屋敷環境管理センター
------	-------------

開設年	2016年	対象年度	令和05(2023)年度
代表建築年	2016年	施設番号	1703330001 中学校区 豊田中学校

施設概要	し尿汲取り、浄化槽汚泥収集事業を行うための事業所。事務所や車庫などから構成される。
------	---

基本情報					
所在地	焼津市小屋敷573	大分類	その他施設	敷地面積 (㎡)	12,098.59
所管部署	下水道課	小分類	その他施設	延床面積 (㎡)	992.4
用途地域	工業地域	財産種別	行政財産	施設棟数	4棟
設置根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法	設置条例		建物所有	市有
利用者		緯度	34.867		
標高		経度	138.32		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度								
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送	総合	点数
環境管理センター車庫棟	2017	6	524	S	1	対象外	対象外		-							
環境管理センター事務所棟	2016	7	440	LS	2	対象外	対象外		-							
自転車置き場	2016	7	22.6	LS	1	対象外	対象外		-							
渡り廊下	2017	6	5.8	LS	1	対象外	対象外		-							

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	R05年度 (2023)	平均	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	R05年度 (2023)	平均
収入								
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0

支出								
光熱水費	0	0	1,146	1,146	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	0	0	409	409	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	0	0	2,054	2,054	0	0	0	0
その他	0	0	21	21	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	0	0	3,630	3,630	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	169	169	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	0	169	169	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	0	0	6,603	6,603	0	0	0	0
人に係るコストの合計	0	0	6,603	6,603	0	0	0	0
②合計	0	0	10,402	10,402	0	0	0	0

純収支 ①-②	0	0	-10,402	-10,402	0	0	0	0
---------	---	---	---------	---------	---	---	---	---

■利用状況

データ項目	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)

■管理・運営情報

運営管理者			
運営形態	直営	指定期間	-
開館時間	7:40~16:45	休館日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始

■単位あたり経費等

データ項目	R03(2021)	R04(2022)	R05(2023)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	0	0	10,481.7	10,481.7	10,685.8
利用者あたり支出 (円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出 (円/人)	0	0	76.6	76.6	23.7

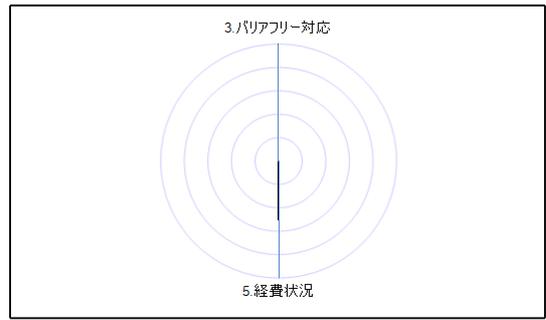
■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
3. バリアフリー対応	A	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必要性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増加が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	下水道課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	平成28年に新施設が完成し、運用を開始した。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	平成28年に新施設が完成し、運用を開始した。
今後の方向性	
評価者	下水道課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない